

1. 対象部材

内部開き戸用調整機能付き丁番

略称：CjK 丁番

2. 標準(共通)化の部位

内部開き戸用調整機能付き丁番の標準(共通)化の部位を図1図2に示す。

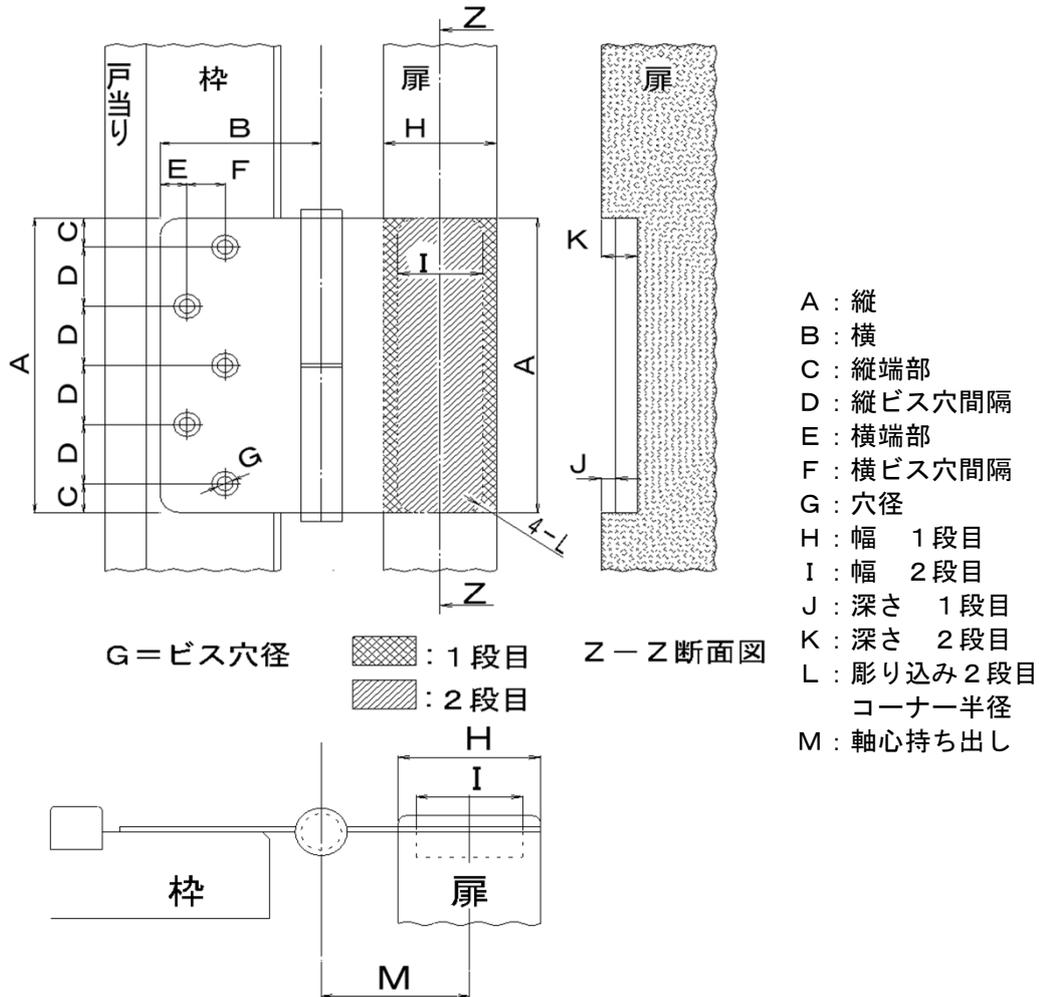


図1 - 枠側ビス穴部位、扉側丁番彫り込み加工部位

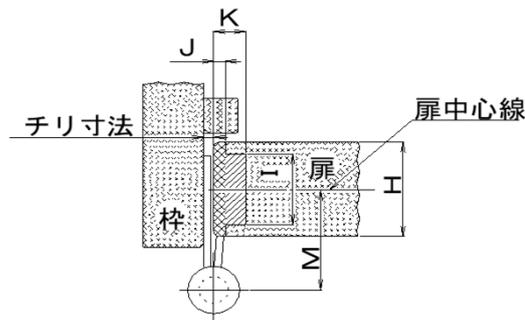


図 2 - 軸心の持ち出し、扉と枠の取り合い部位

3. 寸法・形状

枠側ビス穴、扉本体彫り込み、軸心持ち出し加工寸法を表 1～表 3 に示す。

表 1 - 枠側ビス穴部位・寸法

単位：mm

項目	寸法
A：縦	102
B：横	51
C：縦端部	10
D：縦ビス穴間隔	20.5
E：横端部	8
F：横ビス穴間隔	12
G：穴径	Φ5
	Φ8.5皿面取り

表 2 - 扉側丁番彫り込み加工部位・寸法

単位：mm

項目	寸法	
	①	②
H：幅 1 段目	33	36
I：幅 2 段目	27	
J：深さ 1 段目	4.5	
K：深さ 2 段目	11.5	
L：彫り込み 2 段目コーナー半径	≤6	

表 3 - 軸心の持ち出し部位・寸法

単位：mm

項目	寸法
M：軸心持ち出し	38

4. 表示方法

丁番本体に”CjK”マークを表示する。

印刷物・電子媒体などに、該当商品が長期使用対応部材であることを表示する。

## 5. 特記事項

- 5.1 丁番の扉側木口取付けの金具形状については、この彫り込みに納まる形状寸法とする。
- 5.2 扉と枠のチリ寸法は、丁番面付けの場合 $3.6 \pm 1$  mmの範囲に対応できること。  
かつチリ寸法3.6mmに対して1mm以上引き寄せができること。
- 5.3 丁番の調整幅は、上下 $\pm 2$  mm以上、左右 $\pm 2$  mm以上、前後 $\pm 2$  mm以上とする。
- 5.4 枠側丁番取付けビスは5本使用し、且つ表1の”G：穴径”に対応した規格とする。

## 6. 解説

- ・調整機構、扉固定ビス等は規定しない。
- ・調整丁番は3次元式を前提としている。

## 7. 共通事項

- 7.1 寸法について  
寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。
- 7.2 交換について  
交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。  
注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。

## 8. 改訂履歴

- 8.1 2014年3月20日改訂
  - ・ ”7. 共通事項” を基準書記載内容改訂により記載
  - ・ 符号、書式の統一
- 8.2 2016年4月28日改訂
  - ・ 対象製品名称、略称見直しによる改訂
  - ・ 7.1寸法について記載内容改訂
- 8.3 2022年1月27日改訂
  - ・ 図1のD、Fの名称の”ビス間隔”を”ビス穴間隔”に改訂した。
  - ・ 図1、表1の”枠側ビス固定穴”を”枠側ビス穴”に改訂した。
  - ・ 表2のH寸法に”33”のタイプを追加し、表を改訂した。